

せとまちトーク進捗管理シート

水野 連区

テーマ

品野中線の渋滞緩和と安全確保

課題・問題点の背景・理由

- ・交差点の渋滞。
- ・生活道路に影響している。

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

- ・東向き二重線化と県と交渉
- ・市に対して県・国との交渉
- ・予算の獲得

- ・地域住民にて交通量を調査している。
- ・子ども、高齢者の見守り

関係する常任委員会

都市活力委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

せとまちトーク後、建設課に状況を確認した。地元や企業側からも、主に上水野町交差点を中心に、通勤時間帯の渋滞が発生しており、改善を求める要望があがっているとのことだった。当課としても対応していく予定であることを確認した。

令和4年度から6年度の中期事業計画に、「水野中線渋滞対策」として80,000千円計上されているのを12月に確認した。具体的には、複数車線化を行う予定。R4年度から測量・設計、R6年度に道路整備完了予定。また、企業団地側の交通量をコントロールするソフト対策等も検討する必要があるとしている。

令和4年度当初予算では、重点事業としてあげられ、現況調査業務委託として5,000千円計上された。

令和4年3月定例会都市活力分科会準備会においても、「水野中線渋滞対策」について委員全員で問題共有を行い、予算審査に望んだ。質疑では、

Q. 次年度、渋滞調査を行い、その後令和6年度完了予定となっているが、渋滞が実際に起きている現状を踏まえると、もう少しスピード感を持って対応する必要性を感じるがどのようなか伺う。

A. 今回の現況調査は、企業団地側の将来的な計画も含めた交通量などを把握して、ソフト面も考慮しながら、効果のある対策を十分検討し、段階を踏んで対応していく必要がある。

Q. 企業団地側の通勤ピーク時間を分散させるなどのソフト対策も重要と考えるが、どのように行っていくか。

A. ソフト対策も重要である。地域・事業者・行政が連携して検討を行っていく。

との答弁を得た。

【補足】

渋滞に対する、地域や企業団地からの改善要望にたいして、中期事業計画への計上、令和4年度当初予算への計上、重点事業化と、順調に改善に向けた具体的な動き出しが確認された。今後は、事業の進捗を見守りつつ、渋滞解消が達成されていくか見ていく必要がある。

せとまちトーク進捗管理シート

水野 連区

テーマ

水野地域交流センターの改築又は建替え

課題・問題点の背景・理由

- ・交流センターの改修
- ・現在ホールが2階にあり障がい者、高齢者が使えない
- ・駐車場、ホールが狭い
- ・老朽化で雨漏りがする

解決手法

【行政】

【地域】

【その他】

- ・ホール、駐車場を広くする
- ・場所の検討

- ・地域の合意作り。
- ・場所の選定。

関係する常任委員会

総務生活委員会

せとまちトーク後の経過、及び調査検討結果

現状把握

雨漏りについて担当課は現時点で把握しておらず、状況の確認を依頼した。すでに2か所から同様の要望が出ており、令和5年にファシリティで改修に向けた予算確保の見込みがあるとのことであるが、本件について対応できるか不明であり、別途予算要望の必要性もある。現時点で建て替えのための場所についての意見はない。

委員会での主な質疑

予算決算委員会総務生活分科会において、雨漏りの件について質疑するも、現状把握時点と見解は変わらず、現場確認を要請した。

その後の現場確認の結果で交流センターは雨漏りはするが、台風等の大雨でなければ大丈夫とのことであり、次年度に対応できるよう考えていく。(まちづくり協働課)

移転建替えについて

代表質問において市長は、中水野地区区画整理区域内におけるコミュニティ施設についても、本市が策定中の立地適正化計画の中で、市域全体の視点から、コミュニティ施設など、拠点に必要な施設を今後庁内で調整・検討していくと答弁し、中水野地区区画整理区域内への移転について見解を述べている。

【補足】

--	--	--